

<第7回すららアクティブラーニングイベント>

お金の格差に立ち向かえ！ — 平等な社会を目指して —



Team cosmos

member 小田 暁広 (おだ あきひろ)

本文構成、P3-5、10

村嶋 瑛太 (むらしま えいた)

ゲーム原案、表紙、P1-2, 10

三浦 清慈 (みうら せいじ)

資料、P6-9, 10

きっかけ

先日、僕は『世界億万長者番付』というサイトを見ました。これは、アメリカの経済誌『Forbes(フォーブス)』が発表している世界の長者番付です。これによると、保有資産額1位はAmazon.com創業者のジェフ・ベソス氏で、**1770億ドル**(日本円で**約19兆2900億円**)だそうです(表1)。

しかし、世界にはもっと貧しい人はたくさんいます。経済格差はどこまで広がっているのでしょうか。また、それに対して世界はどのような取り組みをしているのでしょうか。疑問に思った私たちは、代表的な国際的な機関、**国際連合(国連)**を例にとって調べてみることにしました。

表1 世界長者番付 TOP15

順位	名前	関連	国	年齢	資産額 (10億\$)	資産額 (兆円)
1	ジェフ・ベソス	アマゾン	アメリカ	57	177.0	19.29
2	イーロン・マスク	テスラ	アメリカ	49	151.0	16.46
3	ベルナール・アルノー	LVMH	フランス	72	150.0	16.35
4	ビル・ゲイツ	マイクロソフト	アメリカ	65	124.0	13.52
5	マーク・ザッカーバーグ	フェイスブック	アメリカ	36	97.0	10.57
6	ウォーレン・バフェット	パークシャー・ハサウェイ	アメリカ	90	96.0	10.46
7	ラリー・エリソン	オラクル	アメリカ	76	93.0	10.14
8	ラリー・ページ	グーグル	アメリカ	48	91.5	9.97
9	セルゲイ・ブリン	グーグル	アメリカ	47	89.0	9.70
10	ムケシュ・アンバニ	リライアンス・インダストリーズ	インド	63	84.5	9.21
11	アマンシオ・オルテガ	インディテックス(ザラ)	スペイン	85	77.0	8.39
12	フランソワーズ・ベッテンコート・マイヤーズ	ロレアル	フランス	67	73.6	8.02
13	鍾睒睒	農夫山泉	中国	66	68.9	7.51
14	スティーブ・バルマー	マイクロソフト	アメリカ	65	68.7	7.49
15	馬化騰	テンセント	中国	49	65.8	7.17

国連の取り組み

SDGs(持続可能な開発目標)の設定

SDGsは、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標のことです。経済格差は、SDGsの1に当たります。

これは、2030年までに世界中で『**極度に貧しい暮らし**(1日あたりに使えるお金が1.25ドル(約135円)未満で生活しなければならない状態)』をしている人をなくすことなどを目標にしています。

図1 SDGsのロゴ



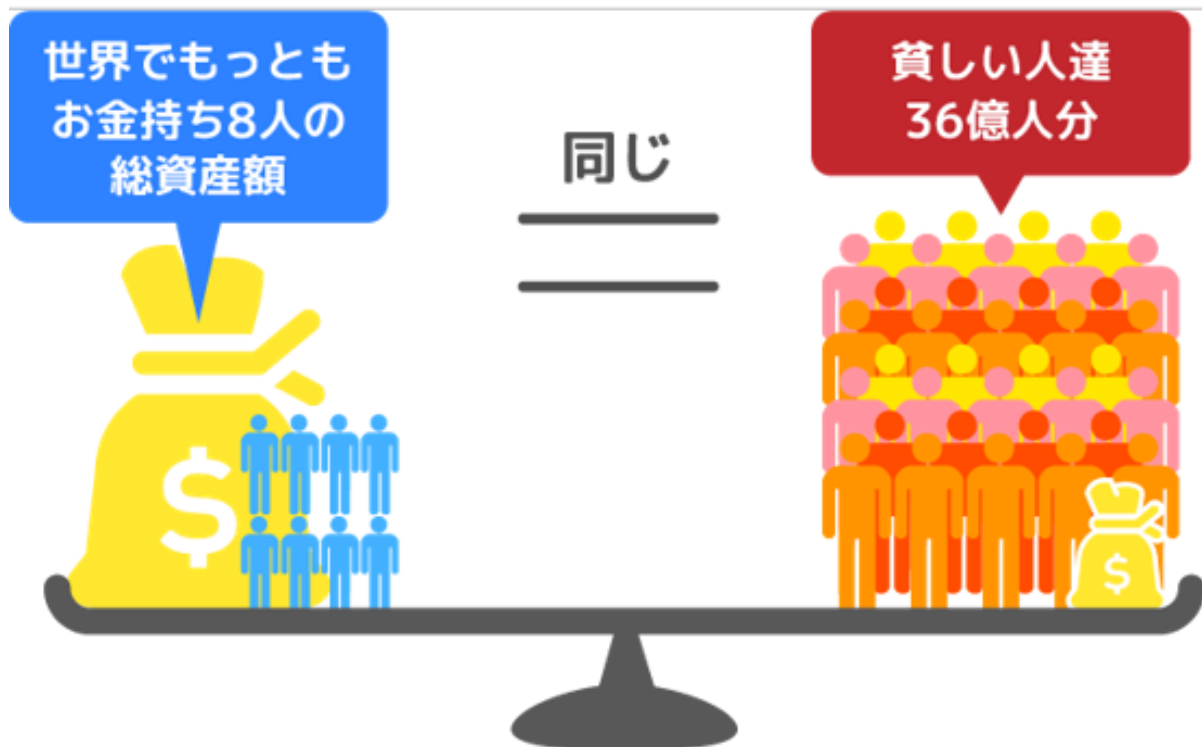
図2 SDGs 1のロゴ



さて、経済格差の現状はどうなのでしょう？

現状

図3



資料1

「世界がもし100人の村だったら ⑤お金編」(池田香代子 著)より

- ・貧しさを無くすには、年に**2810億ドル**が必要
⇔国連.....年**100億ドル**を使っている

資料2

「『フォーブス』世界長者番付」より

- ・世界の億万長者（10億ドル以上の資産の保有者）は**2755人**
- ・保有資産の合計は**13兆1000億ドル**（日本円で約**1427兆円**）

課題

1 大金持ちと貧しい人の差が大きい

世界一のお金持ちは**1770億ドル**を持っているのに、世界には1日を**1.25ドル以下**で過ごしている人もいます。

貧しい人は子供も貧しくなり、**負のスパイラル**が生まれます。

また、お金持ちの中にはずる賢い人もいて、**タックスヘイブン**と呼ばれる税を納めなくてよい国や地域を利用して、納税から逃れたりしています。そのため、国に納められる税金が減り、増税などの「しわ寄せ」が庶民や、未来の世代に來ています。

2 募金が身近ではない

貧困をなくすためのお金の集め方の1つに、**募金**があります。

しかし、募金についてインタビューしてみると、

- ・するのが面倒
- ・人の目があると遠慮してしまう

などの問題が見つかりました。

3 平等とは何か分かっていない

「平等って、何だと思えますか？」という問いに対して、明確な答えを持っている人は少ないと思います。平等という言葉が**抽象的**で、何か分かっていないのです。

3つの課題を踏まえて、アイデアを提案します。

提案

課題1については、国際的に**高所得者**への税金をかけること(**グローバルタックス**)などのアイデアがありますが、私たちにできることではありません。

しかし、課題2や3については、人々の、「平等」や、「貧困」への感覚を変えることで、**改善できるはずだ**と思いました。

かといって、「平等とは～」や、「貧困をなくすためには～」と大きな声で主張しても、**伝わりにくい**と思います。

それについて、グループ内では、

「**子供や大人でも、楽しめるゲーム**を作ったらどうかな。」

という意見が出ました。

そこで、だれでも楽しめて、**貧困問題に興味を持てる**ゲーム、「**大富豪**」を考えました。



カードゲーム「大富豪」

ゲームの概要

プレイヤーとゲームマスターを置き、プレイヤーは5人とする。

プレイヤーは大富豪、富豪、平民、貧民、大貧民に分かれる。プレイヤーは、オークションやイベントを経て、億万長者を目指す。

ゲームの目的

オークションを繰り返し、資産額が10万\$に達したプレイヤーの勝利。

ゲームの進行

(1) 準備

お金

1 \$, 10 \$, 100 \$, 1000 \$, 10000 \$各25枚

オークションカード(山札)

りんご、鉛筆、安全な水、ノート、

筆箱、本、薬、LED、机、自転車、

靴、パソコン、テレビ、車、住居.....各1枚

イベントカード(山札にまぜておく)

大不況、脱税発覚、バブル.....各1枚

スペシャルカード

富の再分配、助け合い、返還、付与、寄付.....各1枚

(2) 開始

プレイヤーは大富豪、富豪、平民、貧民、大貧民のいずれかの役割カードをゲームマスターから配られる。

それぞれの立場のお金は次の通り。

大富豪.....10000 \$ 5枚 (50000 \$)

富豪.....1000 \$ 5枚、100 \$ 5枚 (5500 \$)

平民.....100\$ 5枚、10\$ 5枚 (550\$)

貧民.....10\$ 5枚、1\$ 5枚 (55\$)

大貧民.....1\$ 10枚 (10\$)

それに加え、各プレイヤーは、スペシャルカードを1枚もらう。

(3) 進行

1ターンにつき1回のオークションが行われる。

オークションは、次の流れで行われる。

(i)山からオークションカードを1枚引く。

(ii)オークションカードの品物に対して順番に前の人が出したお金より高いお金を出す。ただし、お金は何\$でも出してもよい。出せない場合はパスしてもよい。

(iii)1番高い金額を出した金額を出した人が品物を獲得し、カードに書かれた元値の金額が自分の資産に加わる。

(iv)お金カードをシャッフルしてプレイヤーに1枚ずつ配る。

誰かの資産額が10万\$に達する or 山のカードがなくなる or

全員のお金が無くなるまで(i)~(iv)を繰り返す。

(4) 補足ルール

(i)自分のスペシャルカードを出し終えない限り勝利は認められない。

〈スペシャルカードの種類とその効果〉

富の再分配 全員のお金カードをシャッフルして全員に配る。

助け合い 一番資産額が多い人は一番資産額が少ない人に10000\$をあげる。

付与 一番資産額が少ない人は10000\$もらう。

返還 一番資産額の多い人は10000\$を捨てる。

寄付 一番資産額が少ない人はほかのプレイヤー全員からその人が持っている一番金額が小さいお金を貰う。

(ii) 山札からオークションカードを引く際、イベントカードが出たら、イベントが発生する。

〈イベントカードの種類とその効果〉

大不況 一番資産額が少ない人は3ターン、二番目に資産額が少ない人は2ターンの間、オークションに参加できなくなる。

脱税発覚 一番資産額が多い人は3ターン、二番目に資産額が多い人は2ターンの間、オークションに参加できなくなる。

バブル すべてのプレイヤーのオークションカードの資産額が2倍になる。

(iii) 誰かの資産額が10万\$に達した場合、そのプレイヤーの勝利となる。ただし、山のカードが無くなる、又は全員のお金が無くなるとなってもどのプレイヤーも10万\$に達さなかった場合、一番資産額が多い人の勝利とする。



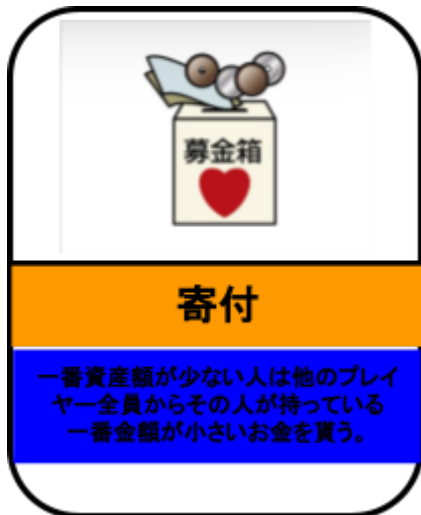
↑イベントカードの例



↑オークションカードの例



↑役割カードの例



↑スペシャルカードの例



↑お金の例

実際に遊んでみての成果と課題

成果

- ・カードの効果によって、貧困の大変さが体験できた。
- ・楽しみながら、貧困問題を考えることができた。
- ・私たちの家や車などがある生活は、決して当たり前のことでは無いことがわかった。

課題

- ・カードの準備が大変なので、インターネットなどで印刷できるようにしたほうがいい。
- ・手に入れたオークションカードを活用できるようにしたほうがいい。
- ・もっと大人数でも遊べるようにしてほしい。

おわりに

国連でSDGsが採択され、貧困問題が注目されている今、多くの人に貧困について考えてもらうきっかけをこのゲームで作ることができればいいなと思った。

(小田)

貧困について考え、発信していくための第一歩がこのゲームとなり、世界の貧困問題を解消して、SDGsの達成につながってほしい。1人では難しいことでも、みんな協力して成し遂げていきたい。

(村嶋)

自分が当たり前だと思っていたことが、当たり前ではない人たちがいる一方で、一部の人たちが多くの富を持っているのは問題だと思うので、募金活動等に積極的に参加し、支援をしていきたいです。

(三浦)

【参考文献】

P1 表1・P3 資料2 フォーブス世界長者番付・億万長者ランキング(2021年版)

https://memorva.jp/ranking/forbes/forbes_world_billionaires.php

P2 図1・図2 SDGsのポスター・ロゴ・アイコンおよびガイドライン

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/

P3 図3 国際協力団体オックスファム報告書より

https://sdgs.city.sagamihara.kanagawa.jp/sdgs-17goal/10_reduced-inequalities/

資料1 池田香代子『世界がもし100人の村だったら ⑤お金編』マガジンハウス、2017年